

2019.12.7
滋賀県フットボールカンファレンス
【TSG報告】



TSGとは



**TSGとは、
Technical Study Group
(テクニカル・スタディ・グループ)**

FIFAで1965年に設立され、1966年のFIFA主催の大会から実働を開始し、サッカーの変化の動向を分析し、トレーニングから判定まで、サッカーの技術・戦術的向上をサポートするグループの名称

JFAでは1998年のW杯仏大会、2002年W杯日韓大会から活動を本格化し、現在ではA代表のみならず、アンダーカテゴリーや女子の大会、世界大会ばかりでなく、アジアでの大会、ユース各年代の国内大会においても実施

滋賀県TSGの目的



- **現代サッカーのトレンドを知る**
 - ・同じベクトルの共有

- **滋賀県の立ち位置の確認(各年代)**
成果と課題の抽出
 - ・何ができて、何ができていないか
 - ・さらに良くするために何が必要か

- **今後の示唆**

活動報告(1)



日程		大会名	場所	カテゴリー	備考
2018.	12	京都招待サッカー大会	太陽が丘、他	U14/U15	トレセン・ 地区選抜
2019.	1	ガンバカップ	OFA万博球技場	U13	トレセン・ J下部
	1	U14関西トレセンリーグ	奈良フットボールセンター	U14	トレセン
	5	クラブユース滋賀県予選	ビッグレイク	U15	県内クラブ
	5	全日本女子選手権 滋賀県大会	ビッグレイク	U15女子	県内女子 クラブ
	5	中体連春季総体	湖南市民G	U15	県内中体連
	5	U16関西トレセンリーグ	J-Green堺	U16	トレセン
	5	U14関西トレセンリーグ	J-Green堺	U14	トレセン
	5	U12関西トレセンリーグ	J-Green堺	U12	トレセン
	5	高体連春季総体 女子決勝	ビッグレイク	U18女子	県内高体連

活動報告(2)



日程		大会名	場所	カテゴリー	備考
2019.	6	高体連春季総体	布引運動公園	U18	県内高体連
	6	高体連近畿大会	三木総合防災公園	U18 U18女子	関西高体連
	6	しがぎんカップ	ビッグレイク	U12	県内4種
	6	U16関西トレセンリーグ	奈良フットボールセンター	U16	トレセン
	6	U14関西トレセンリーグ	J-Green堺	U14	トレセン
	8	国体近畿ブロック予選 少年男子(ミ二国)	橿原公苑	U16	国体選抜
	8	国体近畿ブロック予選 女子(ミ二国)	奈良フットボールセンター	女子	国体選抜
	8	滋賀招待サッカー大会	ビッグレイク	U14/U13	トレセン・クラブ 中体連
	8	全国中学校サッカー大会 (全中)	葛城市新町球技場、 他	U15	全国中体連

活動報告(3)



日程		大会名	場所	カテゴリー	備考
2019.	9	茨城国体	新浜緑地球技場、 他(鹿嶋市)	U16	全国大会 (トレセン)
	10	サンライズリーグ 入替え戦	奈良フットボールセンター	U15	関西クラブ 連盟
	10	高円宮U15選手権 滋賀県予選	ビッグレイク	U15	県内クラブ
	10	U14関西トレセンリーグ	奈良フットボールセンター	U14	トレセン
	10	高体連秋季総体 (女子決勝)	ビッグレイク	U18女子	県内女子 高体連
	11	高校サッカー選手権予選 (滋賀大会)	皇子山陸上競技場	U18	県内高体連
	11	全少 滋賀県予選	ビッグレイク	U12	県内4種
	12	京都招待サッカー大会	太陽が丘、他	U14/U15	トレセン
2019	1	ガンバカップ	J-Green堺	U13	

過去のTSGとしての着眼点

2015.

『守備』の強化

2016.

守備のさらなる強化
素早い攻守の切り替え
攻撃の強化

2017-2018.

6つの観点からプレー分析

- ①ポゼッション
- ②ビルドアップ
- ③前線の崩し
- ④フィニッシュ
- ⑤中盤の守備
- ⑥最終ラインの守備

2019.

今年度の着眼点



昨年の滋賀カンファレンスで「今後の示唆」として提示

2019.

〈攻撃〉

- 攻撃方向を意識した個のテクニック(縦パス／前を向く)
- 選手の関わりを増やし選択肢を持ってゴールを目指す

〈守備〉

- ファールせずにボールを奪う個のテクニック
- 選手の関わりを増やし意図的にボールを奪う

今年度の取り組み



- ゲーム分析(プレー分析)
- 映像編集
- テクニカルレポートの作成
- データの収集

今年度の取り組み



データ収集

- ブロック内への縦パスの本数とその成功率
- 自陣でのファール数(プレーオン含む)
- 失点パターン(得点パターン)

縦パスの本数とその成功率

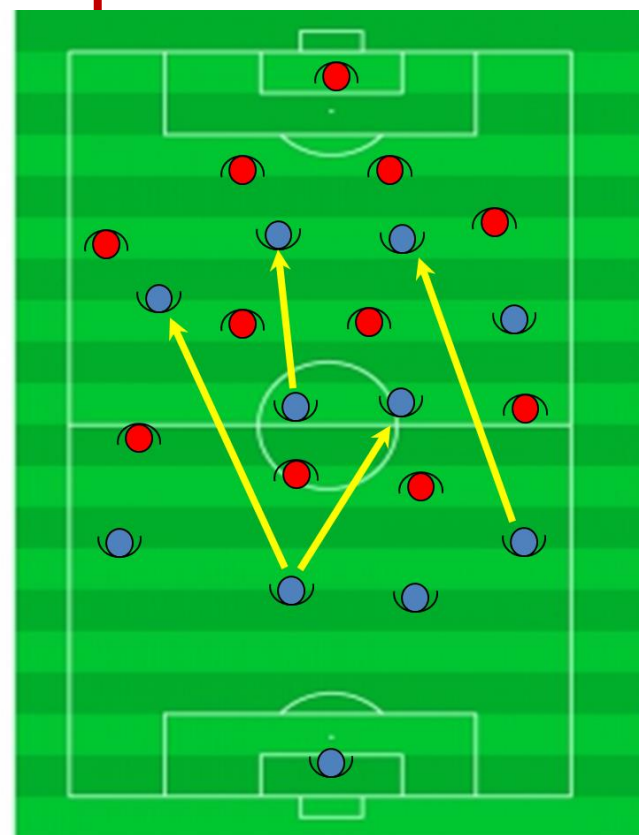
2019.

〈攻撃〉

- 攻撃方向を意識した個のテクニック(縦パス／前を向く)
- 選手の関わりを増やし選択肢を持ってゴールを目指す

〈守備〉

- ファールせずにボールを奪う個のテクニック
- 選手の関わりを増やし意図的にボールを奪う



縦パスの本数とその成功率



滋賀県(2種年代)

	試合数	ブロック内への縦パス(本)	成功数(本)	失敗数(本)	失敗の要因		成功率(%)
					出し手	受け手	
U18高体連	10	32.3	16.8	15.5	10.9	4.6	50.1%
U16トレセン	4	23.5	11.5	12	9.3	2.8	41.6%

他府県(2種年代)

	試合数	ブロック内への縦パス(本)	成功数(本)	失敗数(本)	失敗の要因		成功率(%)
					出し手	受け手	
U18高体連	4	42.3	23.5	18.8	12.3	6.5	58.8%
U16トレセン	28	31.8	20.8	11	7	4	61.2%

縦パスの本数とその成功率



【補足.】

	試合数 (大会)	ブロック内への 縦パス(本)	成功数 (本)	失敗数 (本)	失敗の要因		成功率 (%)
					出し手	受け手	
近江高校 (vs比叡山) 1-0	IH予選	47	32	15	9	6	68.0%
U16滋賀 (vs奈良) 5-0	TCL	46	28	18	11	7	60.8%
U16滋賀 (vs兵庫) 1-0	ミニ国	7	2	5	5	0	28.6%

縦パスの本数とその成功率



【参考.】

	試合数 (大会)	ブロック内への 縦パス(本)	成功数 (本)	失敗数 (本)	失敗の要因		成功率 (%)
					出し手	受け手	
京都橘高 2-0	近畿大会 (決勝)	29	23	6	4	2	79.3%
阪南大高 0-2	近畿大会 (決勝)	47	29	18	14	4	61.7%
U16広島 (vs富山) 6-0	茨城国体	51	40	11	7	4	78.4%
U16神奈川 (vs岡山) 1-1.PK負	茨城国体	80	62	18	12	6	77.5%
U16大阪	2	32.5	20	12.5	9	3.5	60.5%
U16京都	5	40	27.6	12.4	6.4	6	65.4%

縦パスの本数とその成功率



滋賀県(3種年代)

	試合数	ブロック内への縦パス(本)	成功数(本)	失敗数(本)	失敗の要因		成功率(%)
					出し手	受け手	
U15クラブ	8	30.3	16.4	13.9	10.6	3.3	54.0%
U15中体連	6	11.8	3.8	8	5.2	2.8	31.0%
U14トレセン	10	33.4	17.7	15.7	11.3	4.3	51.9%

他府県(3種年代)

	試合数	ブロック内への縦パス(本)	成功数(本)	失敗数(本)	失敗の要因		成功率(%)
					出し手	受け手	
U15クラブ	2	31	18	13	9.5	3.5	56.7%
U15中体連	6	28.7	17.2	11.5	8	3.5	56.6%
U14トレセン	8	40.4	22.1	18.3	11.6	6.6	54.3%

縦パスの本数とその成功率



【参考.】

	試合数 (大会)	ブロック内への 縦パス(本)	成功数 (本)	失敗数 (本)	失敗の要因		成功率 (%)
					出し手	受け手	
静岡学園中 (vs東北学院) 4-0	全中	53	39	14	11	3	73.6%
U14ガンバ (vsU14滋賀) 3-1	TCL	57	34	23	15	8	59.6%

縦パスの本数とその成功率



滋賀県(4種年代)

	試合数	ブロック内への縦パス(本)	成功数(本)	失敗数(本)	失敗の要因		成功率(%)
					出し手	受け手	
U12スポ少	10	24.2	9.7	14.5	10.8	3.7	38.1%
U12トレセン	2	34	17.5	16.5	13.5	3.0	50.2%

他府県(4種年代)

	試合数	ブロック内への縦パス(本)	成功数(本)	失敗数(本)	失敗の要因		成功率(%)
					出し手	受け手	
U12スポ少	-	-	-	-	-	-	-
U12トレセン	2	30	12	18	11.5	6.5	40.2%

縦パスの本数とその成功率



滋賀県(女子)

	試合数	ブロック内への縦パス(本)	成功数(本)	失敗数(本)	失敗の要因		成功率(%)
					出し手	受け手	
U15クラブ	4	31.3	11.8	19.5	14.0	5.5	35.5%
U18高体連	5	37.4	17.0	20.4	13.2	7.2	40.7%
成年女子	2	31	12.5	18.5	12	6.5	40.8%

他府県(女子)

	試合数	ブロック内への縦パス(本)	成功数(本)	失敗数(本)	失敗の要因		成功率(%)
					出し手	受け手	
U15クラブ	-	-	-	-	-	-	-
U18高体連	1	60	36	24	18	6	60.0%
成年女子	4	37.3	21.3	16	9.5	6.5	51.6%

縦パスの本数とその成功率



滋賀と他府県の比較

	ブロック内への縦パス(本)		成功数(本)		成功率(%)	
	滋賀県	他府県	滋賀県	他府県	滋賀県	他府県
U18高体連	32.3	42.3	16.8	23.5	50.1%	58.8%
U16トレセン	23.5	31.8	11.5	20.8	41.6%	61.2%
U15クラブ	30.3	31	16.4	18	54.0%	56.7%
U15中体連	11.8	28.7	3.8	17.2	31.0%	56.6%
U14トレセン	33.4	40.4	17.7	22.1	51.9%	54.3%
U12スポ少	24.2	－	9.7	－	38.1%	－
U12トレセン	34	30	17.5	12	50.2%	40.2%
U15女子クラブ	31.3	－	11.8	－	35.5%	－
U18女子高体連	37.4	60	17	36	40.7%	60.0%
成年女子	31	37.3	12.5	21.3	40.8%	51.6%

縦パスの本数とその成功率



滋賀県の傾向

- ◆ 本数の少なさ、成功率の低さ
- ◆ ブロック内へのパスのレンジが短い
- ◆ MF→FW(DF→FW)よりもDF→MF
- ◆ 攻撃の起点になるようなパス・コントロール(前を向くシーン)は少ない

縦パスの本数とその成功率



育成への示唆

- 相手の守備ブロックの周りでパスをつないでいるだけでは、相手を崩す形はなかなか作れない。相手を観て、動きながらプレーし、ゴールに向かってプレーすることでチャンスを作りたい。
- 相手ブロック内へのパスの質とコントロールの質（前を向く）が良いときは、シュートまで結びついているシーンが多い。



縦パスの本数とその成功率



〈補足.〉

- その試合の位置づけや、背景にあるレギュレーションは考慮に入れる必要がある。
 - ・勝ったら全国大会、トーナメント・・・etc.
 - ・次ステージ進出後の試合(3決)、リーグ戦、トレーニングマッチ・・・etc.
- ブロック内への縦パスの本数が多かったり、成功率が高ければ試合に勝てる・・・というものではない。ただ、質が高いといわれるチームや、勝ち残っていくチームの数値は高いものが多い。

自陣でのファール数

2019.

〈攻撃〉

- ・攻撃方向を意識した個のテクニック(縦パス／前を向く)
- ・選手の関わりを増やし選択肢を持ってゴールを目指す

〈守備〉

- ・ファールせずにボールを奪う個のテクニック
- ・選手の関わりを増やし意図的にボールを奪う

自陣でのファール数

自陣でのファール(滋賀.)

	試合数	試合時間 (分)	ファール総数 (回)	時間換算 (分)	1試合平均 (回)
U18高体連	10	720	46	70	4.6
U16トレセン	4	280	13	70	3.3
U15クラブ	8	600	36	70	4.5
U15中体連	6	360	7	60	1.2
U14トレセン	10	560	13	60	1.3
U12スポ少	10	400	14	40	1.4
U12トレセン	2	80	6	40	3
成年女子	2	160	4	70	2
U18女子高体連	5	350	7	70	1.4
U15女子クラブ	4	240	1	60	0.25

自陣でのファール数



自陣でのファール(他府県.)

	試合数	試合時間 (分)	ファール総数 (回)	時間換算 (分)	1試合平均 (回)
U18高体連	4	280	15	70	3.8
U16トレセン	28	1960	75	70	2.7
U15クラブ	2	120	4	70	2
U15中体連	6	360	22	60	3.7
U14トレセン	8	480	21	60	2.6
U12スポ少	-	-	-	-	-
U12トレセン	2	80	2	40	1
成年女子	4	300	11	70	2.75
U18女子高体連	1	70	1	70	1
U15女子クラブ	-	-	-	-	-

自陣でのファール数



滋賀と他府県の比較

	1試合平均(回)	
	滋賀県	他府県
U18高体連	4.6	3.8
U16トレセン	3.3	2.7
U15クラブ	4.5	2
U15中体連	1.2	3.7
U14トレセン	1.3	2.6
U12スポ少	1.4	–
U12トレセン	3	1
成年女子	2	2.75
U18女子高体連	1.4	1
U15女子クラブ	0.25	–

自陣でのファール数



滋賀県の傾向



- ◆ カテゴリーが上がるにつれて数値が高い
- ◆ 4種年代ではドリブルの対応など、対人プレーでファールが多い
- ◆ 3種年代では加えて、競り合い(特に「手」)によるファールが多い
- ◆ 2種年代でも競り合いのポジション取りによるファールが多い
- ◆ 過剰なチャージや無理な体勢から奪おうとし、結果的にファールになる場面がある
- ◆ 腕の使い方やコンタクトのタイミングなど、技術的なファールになる要因
- ◆ メンタルコントロールの部分でファールが多くなるゲームもある

自陣でのファール数

育成への示唆

- 自陣でファールすることは失点につながることを理解してプレーする
- セットプレーからの得点率が上がってきているからこそ、不要なファールでセットプレーを与えない
- 拮抗したゲームや球際の激しいゲーム環境の中で、ファールせずにボールを奪うテクニックを身につけたい



自陣でのファール数

〈補足.〉

- プレー強度が低いゲームの中で、ファールが多い少ない、では意味がない
- ファールしなければいい、ということではない。(ファールしてでも止めなければならない場面もある・・・かもしれない)
- 球際で強く行くことを要求 ⇒ ファールが増えてしまう
ファールせずに、と要求 ⇒ 強くボールに行かなくなる

※我々指導者が強く行く、かつファールをせずにボールを奪う、ということを求めていかなければならない

参考資料.

「ロシアW杯ベスト8進出チームのノックアウトステージにおけるディフェンディングサードのFK+PKの回数」

チーム名 (少ない順)	総数		90分換算(1試合平均)		試合時間
	FK+PK	失点	FK+PK	失点	
イングランド	3	5	0.6	1.1	420
ブラジル	4	2	2.0	1.0	180
ベルギー	12	4	3.0	1.0	360
クロアチア	16	8	3.2	1.6	450
フランス	13	5	3.3	1.3	360
スウェーデン	7	2	3.5	1.0	180
ロシア	10	3	3.8	1.1	240
ウルグアイ	8	3	4.0	1.5	180

失点パターン(得点の傾向)



2019.

〈攻撃〉

- 攻撃方向を意識した個のテクニック(縦パス/前を向く)
- 選手の関わりを増やし選択肢を持ってゴールを目指す

〈守備〉

- ファールせずにボールを奪う個のテクニック
- 選手の関わりを増やし意図的にボールを奪う(ゴールを守る)



失点パターン(得点の傾向)



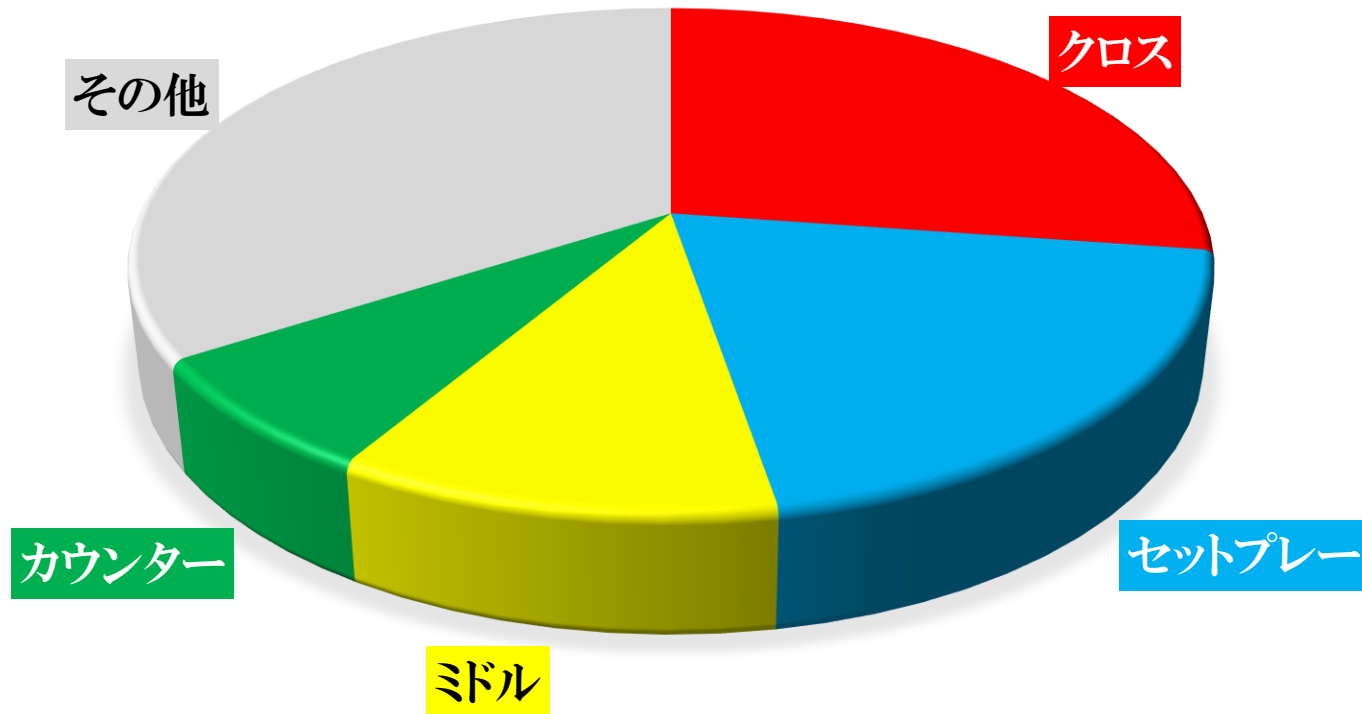
失点パターン(全体.)

	試合数	クロス	セットプレー	ミドル	カウンター	その他	計
全体	116	56	41	23	15	70	205
		27.3%	20.0%	11.2%	7.3%	34.1%	
2種	46	23	16	5	4	30	78
		29.5%	20.5%	6.4%	5.1%	38.5%	
3種	40	15	13	6	5	16	55
		27.3%	23.6%	10.9%	9.1%	29.1%	
4種	14	8	4	6	4	10	32
		25.0%	12.5%	18.8%	12.5%	31.3%	
女子	16	10	8	8	0	14	40
		25.0%	20.0%	20.0%	0%	35.0%	

失点パターン(得点の傾向)



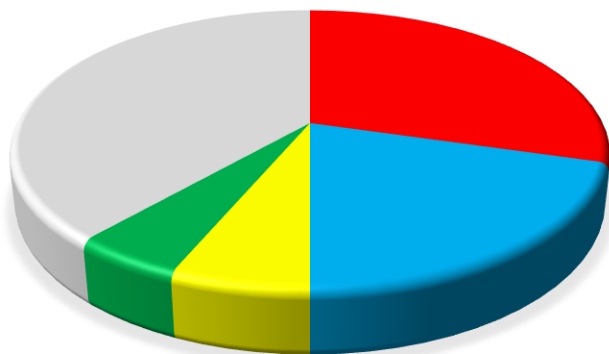
全体.(全205ゴール)



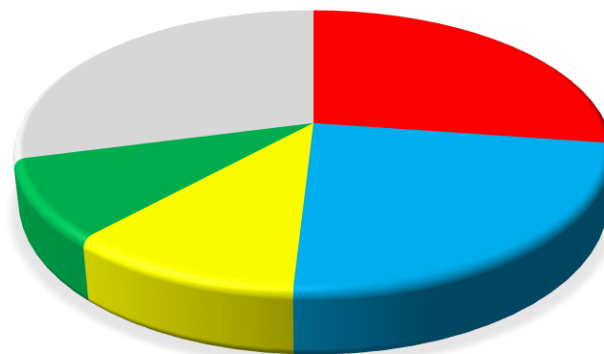
失点パターン(得点の傾向)



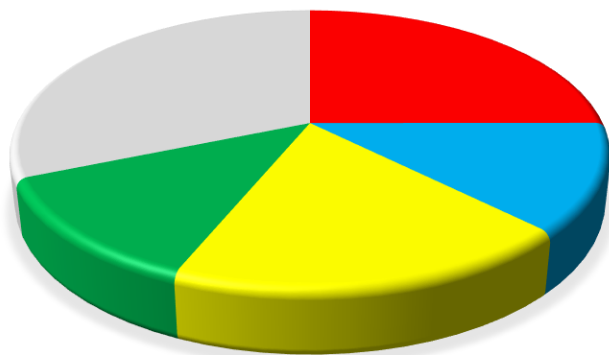
全体.2種(全78ゴール)



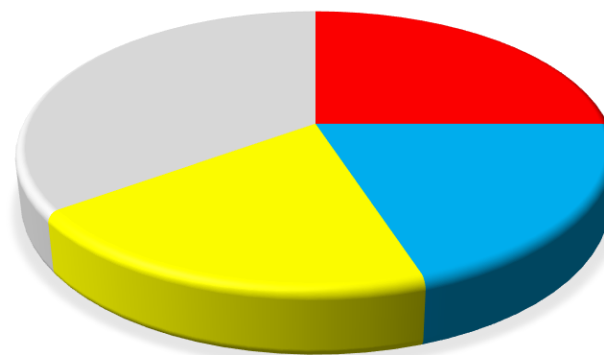
全体.3種(全55ゴール)



全体.4種(全32ゴール)



全体.女子(全40ゴール)



クロス

セットプレー

ミドル

カウンター

その他

失点パターン(得点の傾向)



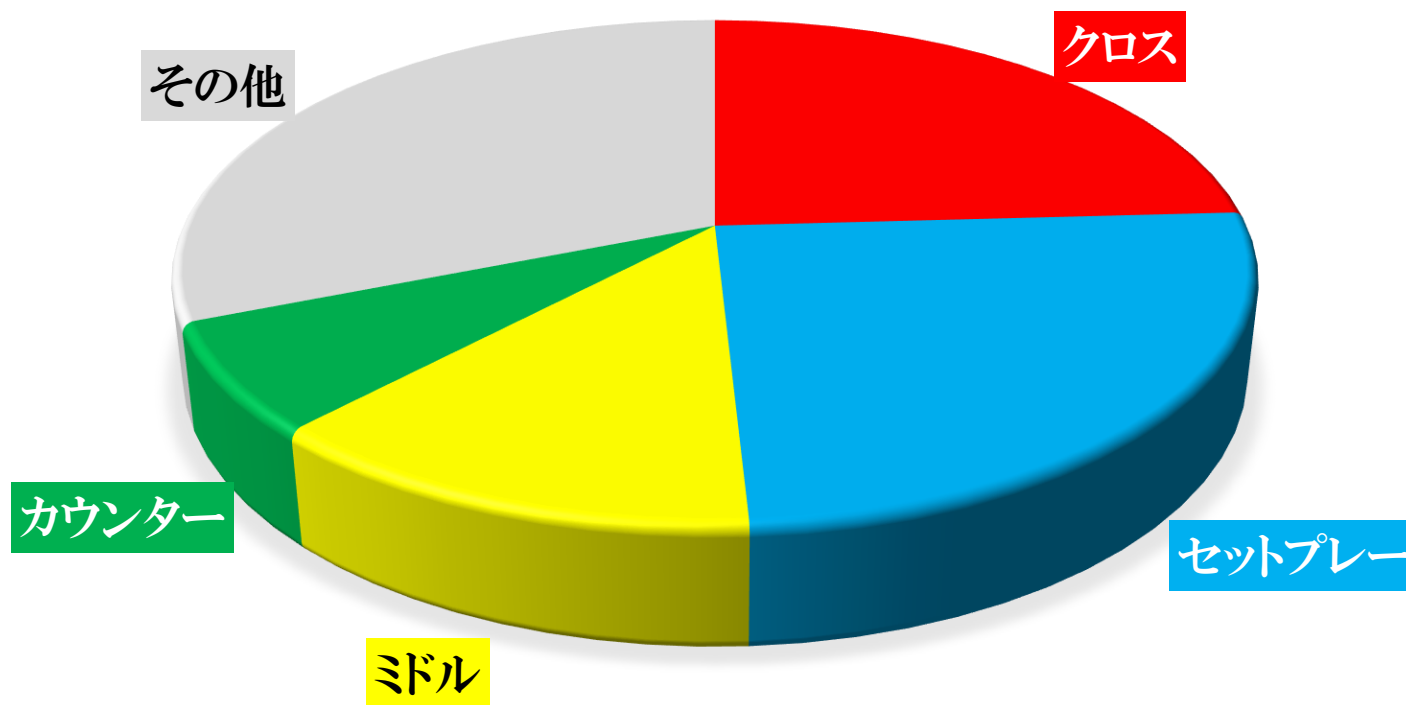
失点パターン(滋賀県.)

	試合数	クロス	セットプレー	ミドル	カウンター	その他	計
全体	61	28	29	15	8	36	116
		24.1%	25.0%	12.9%	6.9%	31.0%	
2種	14	4	8	1	2	3	18
		22.2%	44.4%	5.6%	11.1%	16.7%	
3種	24	6	9	3	3	11	32
		18.8%	28.1%	9.4%	9.4%	34.4%	
4種	12	8	4	3	3	9	27
		29.6%	14.8%	11.1%	11.1%	33.3%	
女子	11	10	8	8	0	13	39
		25.6%	20.5%	20.5%	0%	33.3%	

失点パターン(得点の傾向)



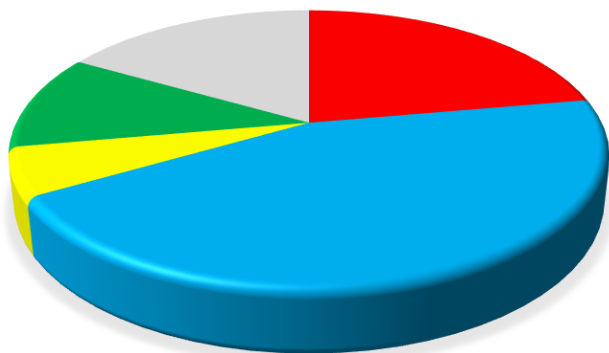
滋賀県全体.(全116ゴール)



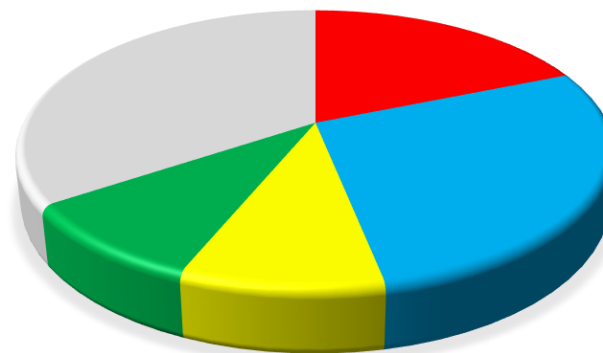
失点パターン(得点の傾向)



滋賀県.2種(全18ゴール)



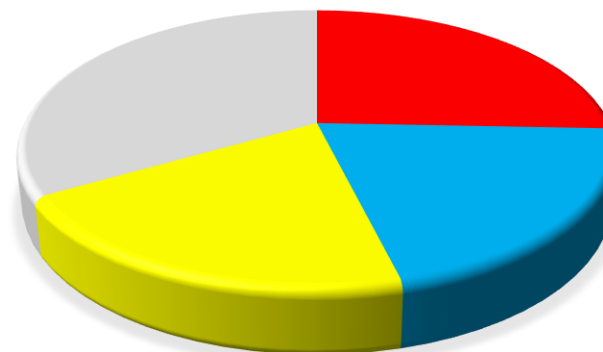
滋賀県.3種(全32ゴール)



滋賀県.4種(全27ゴール)



滋賀県.女子(全39ゴール)



クロス

セットプレー

ミドル

カウンター

その他

失点パターン(得点の傾向)



クロスによる失点

- 縦パスに対してはインターセプトを狙うプレーが見られるものの、サイドでの守備は寄せが甘く、簡単にクロスを上げられる場面が多い。
- ヘディングに強いCBでも、正面の対応は強さを発揮できているが、クロスの対応では同一視できるポジションをとり続けられない、もしくは、とり続けながらもボールに触れないなどがあげられる。

2020年に向けて



攻 撃

- 攻撃方向を意識した個のテクニック
 - ・縦パス
 - ・前を向く
- 選手の関わりを増やし選択肢を持ってゴールを目指す

2020年に向けて



守 備

- ファールせずにボールを奪う個のテクニック
- 選手の関わりを増やし意図的にボールを奪う

2020年に向けて



2020年度 滋賀県出身Jクラブ内定者



山本 悠樹

(野洲JFC → FC湖東 → 草津東高 → 関西学院大 → ガンバ大阪)

山田 真夏斗

(大原SSS → SAGAWA → 立正大湊南高 → 松本山雅)

山田 颯喜

(土山SSS → 京都サンガU15 → 京都サンガU18 → 京都サンガ)

2020年に向けて



我々指導者が、
本気で日常を変えていく努力を
これまで以上に！



ご静聴ありがとうございました

